

2024年6月25日

(株)ササキコーポレーション

ササキ 作業能率を大幅に向上させる超耕速アクティブロータリーに
待望の作業幅 2.0mをラインアップした ACE5RL シリーズを新発売！
～人手不足・燃料費高騰の課題を解決し、持続可能な農業経営に貢献～



(株)ササキコーポレーション（青森県十和田市里ノ沢 1-259 代表取締役社長 佐々木 一仁）は、生産コスト削減に貢献する超耕速アクティブロータリーに作業幅 2.0mを新たにラインアップし、2024年7月発売、10月より出荷開始予定。

農業現場を悩ませる人手不足と燃料費等の高騰。これらの課題を解決し、持続可能な農業経営の実現に貢献するのが、ササキ超耕速シリーズのひとつ、アクティブロータリーです。

超耕速アクティブロータリーは、生産コスト削減をコンセプトに開発したロータリーです。ササキ独自の超広幅で曲げ角が大きな CK 爪によって耕うん性能を高め、従来機ロータリーより速度を上げても碎土性の低下が少なく、最高速度 5.5km/h(※ほ場条件によって異なる)で作業効率を大幅に向上。これにより、作業時間の短縮が可能となり、人手不足の解消や燃料費などの生産コストの削減に貢献します。また、規模拡大を考える生産者にとっても、同じ作業時間でより多くの面積を作業できるため、高効率化と生産性向上を実現します。

新製品「ACE205RL/225RL/245RL」は従来モデルの優れた耕うん性能に加え、以下の新機能を搭載し、作業効率と使いやすさをさらに向上させています。



- 従来の作業幅 1.9mモデルの幅を拡大し、作業幅 2.0m の ACE205RL を新たにラインアップ。さらに、従来の適応馬力 45～60PS から上限を 75PS へと引き上げ、作業幅の拡大と共にさらなる高能率化を実現します。
- 新アシストレバラーを全モデル装備。従来機の 1/3 の力でレバラーを持ち上げることができ、より使いやすくなりました。
- カバー内部でラバーに土があたる事で振動して付着した土を落とすウェブラバーを全モデルに装備し、バイブロスチレンスカバーやステンレスカバーと共に内部への土の付着を低減し、爪の摩耗や馬力ロスを抑えます。
- 公道走行対応について
ACE205RL/225RL は公道走行対応を標準装備。ご購入後そのままトラクタに装着し公道を走行可能。全幅 2.5m 以下なので大型特殊免許対応（特殊車両通行許可が不要）の U2.5 モデルです。さらに、機体には「U2.5」を表示したことにより、公道走行に関わる全幅の識別が容易になり、利便性が向上しました。
- ACE245RL は公道走行に必要な反射器・制限事項を示す標識・全幅表示を標準装備（※但し、外側表示板・車幅灯がセットとなるオプションの公道走行キットが別途必要）。全幅 2.5m 超えのため、道路管理者から特殊車両通行許可を得る必要があります（農道は許可不要）。
- 超耕速アクティブロータリーの性能を最大限に引き出す、適応トラクタ馬力は ACE205RL：45～75PS、ACE225RL：55～80PS、ACE245RL：60～80PS。
- 新モデルは洗練されたシンプルでスタイリッシュなデザインを採用し、作業現場においても一際目立つ存在となります。

超耕速アクティブロータリーは高能率化による重作業を想定し、高い耐久性と優れたメンテナンス性を兼ね備えています。

- CK 爪は広幅溶着加工で高い耐久性を実現。
- 耐摩耗性を要求される作業に使用するフローティングシールを採用しています。
- チェーンケース内のオイル残量が一目で確認できるオイル残量確認窓を装備。これにより、オイル残量を簡単かつ迅速に確認できます。さらに、エンド側には特許機構のリザーブタンクを装備。工具不要で簡単にオイルを注ぎ足せるため、メンテナンスの手間を大幅に削減します。
- 耐摩耗性に優れる熱処理加工のチェーンケースガードとブラケットガード装備。
- ゴム焼き付けゲージ輪により土の付着も少なく、グリースアップ式で耐久性に優れています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ササキコーポレーション

営業企画部・CS 推進部 淀・大坂

TEL：0176-22-0308

e-mail：kikaku-oosaka@sasaki-corp.co.jp

URL：<http://www.sasaki-corp.co.jp>